



# KSK あまねだより

発行 神奈川県障害者定期刊行物協会  
222-0035 横浜市港北区鳥山町1752  
障害者スポーツ文化センター横浜ラポール3階  
横浜市車椅子の会内  
編集 あまね共同作業所  
239-0805 横須賀市舟倉1-12-1  
TEL 045-833-4035 FAX 046-833-4062  
2021年7月5日 第449号(頒価20円)



## Tさんの成長



秋のお彼岸を境に、日の入りが一日一日早くなり、季節の移ろいを感じます。秋は食べ物がとても美味しい季節、今年も不漁で希少となったさんまや栗・柿などが旬を迎えます。「天高く馬肥える秋」…私も食欲の秋を満喫しています。

数日前に、こもれびでの集団生活からサテライト型の住居(アパートなどを借りて基本的には一人暮らしに近い生活で、職員やヘルパーの支援も入って生活を支える制度)に移行したTさんのお母様が亡くなられ、葬儀に参列するために付き添いました。10数年前にTさんの祖母が亡くなり、付き添いをした際の落ち着きの無さが嘘のように穏やかであったことに驚きました。

様々な課題を抱えて、生活(入所)施設からグループホームへと移行してきた当初は、利用者の方職員の方とトラブルの連続で、利用者の方職員の方から不満が噴出し小さな生活の場であるグループホームでの生活を続けることができるのか…と思ったこともありました。今考えれば、Tさん自身も生活の不安を抱えて、上手く表現ができない結果としてのトラブルだったのだと思います。

10数年の間に日中活動の場もいくつも変わっています。その都度、グループホームの職員の方に支えられてきました。集団活動の苦手なTさんを、サテライト型のグループホームにと提案してくれたのも、生活をよく見ているグループホームの職員さんからでした。人一倍さみしがりのTさんにとっても一人暮らしへの移行は大きな決断であったと思います。(支えてくれるという実感があったからだと思います)

サテライトに移り2年半、トラブルが全くなくなったわけではありません。とても正直なTさんの言葉に傷つく方も多いと思います。しかし、この間Tさんは確実に成長し、お母さまの死を受け止め娘として最後の振る舞いが出来たことや、残されたお父様や叔父様の体調を気遣う様子を目の当たりにした時、10数年の出来事が走馬灯のように浮かび、支援することによって仲間はいくつになっても成長することができる…と改めて実感することが出来ました。

## 中井やまゆり園の長時間拘束を考える

9月26日東京新聞に、神奈川県立中井やまゆり園での長時間拘束のことが報道されました。障害者閉じ込め - 鉄製扉 外出は散歩・入浴時「相模原教訓 生かされず」 - とかなりショッキングな見出しでした。

昨年7月全ての県立支援施設(民間委託も含めて)の支援の検証を行うと共に、利用者目線の支援など、障害者支援施設における未来支援の支援の在り方を検討するために「**障害者支援施設における利用者目線の支援推進検討部会**」が開催され、今年3月に報告書が纏められました。

報告書では「全体考察」の置ける指摘事項として○障害者虐待防止法が立脚する人権擁護に関する理解不足○行動障がいをはじめとする利用者特性の理解や専門的支援に関する知識・技術の不足○職員間・関係者間のコミュニケーションと情報共有の不足○支援内容の見直しと客観的評価の不足○人権擁護等の理念に基ずく施設運営の未熟○変革に向けたリーダーシップの欠如○県による運営指導等の不足○県立施設の役割の未整備○県の障がい福祉施策の見直しの遅れ が掲げられています。

今回の記事を読むと、施設職員にも取材をしており、同園に在籍する職員からも相模原事件の後に県が掲げた「『共に生きる』というスローガンから全くかけ離れている」「事件の教訓が生かされていない」等の意見がでています。

新聞報道がされた翌日には、県からの記者発表で「県立中井やまゆり園当事者目線の支援改革プロジェクトチームを設置します」との案内がホームページ上で確認されました。

不適切な人権侵害はあってはならないと思います。しかし、私たち福祉関係者は他人事として捉えるのではなく、どこでもその芽はあり、常に注意し続けることが大切であると肝に銘ずる必要があると思っています。

内部の支援がおかしいと思えない、そのことを変えようとしめない背景には、他の事業所や地域の関係機関とのコミュニケーションが不足していることもあるように思います。どこにいても、誰でもあってもその人らしい暮らしの場を作っていくことが、福祉に携わる者の役割であると思います。

(海原・記)

## あなたの力を活かしませんか？ ヘルパー募集中

知的に障害のある方々が生活を楽しむためにサポートをするお仕事です。

移動や外出の動向、身体介護（入浴・更衣・トイレ介助）や生活援助（調理・洗濯・掃除）を行います。

【給与】時給 1,040円 \* 8時迄と18時以降 + 150円 身体介護 + 200円

【時間】8:00~19:00 都合の良い時間に1時間~OK

【資格】介護職員初任者研修（ヘルパー2級）

【待遇】交通費規程支給 昇給あり

問い合わせ あまね支援センター 046-833-2919

## 賛助会にご協力をお願いします。



社会福祉法人あまねでは、利用者の方のニーズに対応し、事業の継続とより良い支援体制にしていくために、多くの方々に法人を理解いただき、賛助会員としてサポートをお願いしています。賛助会費は税額控除に対象になります。

お問合せは 046-833-4035迄

ふきん販売にご協力をお願いします

3枚1組 660円

ご注文はあまねまで 835-0723

資源回収ご協力ありがとうございます

8月実施分は5,667kg

奨励金は22,668円でした

次回日程は確認してください

## 10月の予定

10月8日（金）資源回収（池田町・岩戸）

10月9日（土）資源回収（舟倉・久比里・若宮台）

緊急事態宣言も10月1日から解除されました。横須賀市内の感染者も数名で0名という日も出てくるようになりました。しかし、またいつ増加し再び緊急事態宣言がだされないように、マスク・手洗い・ソーシャルディスタンスを保つ生活をしていきましょう